

Editorial

認知症用剤は存在しないと考え行動を 99

New Products

認知症患者への神経遮断剤プレクスピブラゾール 100

害は他の神経遮断剤と同じ

総説

認知症疾患診療ガイドライン 2026 106

薬剤治療偏重、せん妄誘発薬剤を軽視

薬害は終わっていない

⑤薬害スモン

医学的観点から——安易な適応拡大と警戒欠如が招いた薬害 112

発症から 60 年、老後問題は深刻さを増している 高町 晃司 113

Topic

データ改ざん発覚のきっかけは株主訴訟 116
アバコパンの一連の不正について

Others

コーヒー無礼区 死んじゃった人スペース 105

薬剤師国家試験に挑戦しよう（問題） 105

医薬品危険性情報ピックアップ 118

FORUM 薬害当事者の声をもっと知りたい 119

薬剤師国家試験に挑戦しよう（正解と解説） 119

次号予告／事務局だより／編集後記 120

表紙のことは：設立当初は「広島県物産陳列館」だった。かつてここに日常があったことを忘れないでこよう。

編集部から

介護事業者倒産、人手不足という現場の崩壊が深化して訪問介護を中心とするサービス供給崩壊が現実味を帯びるなか、2026 年 6 月、政府は介護報酬を 1 年前倒して臨時改定したが、介護労働者の全産業平均との給与差は 8.3 万円へと拡大している。介護職員数は、2026 年度時点で約 25 万人、2040 年度時点で約 57 万人の不足が見込まれる。一方、介護保険料は 2000 年の 2,911 円から 2024 年度には全国平均で 6,225 円台まで上昇した。なお、大阪市では 65 歳以上の介護保険料の基準月額が 9,249 円と指定都市の中でも突出している。

本誌では、認知症の薬物療法、非薬物療法を繰り返し取り上げてきた。アルツハイマー型認知症の進行抑制を謳い文句にするドネペジルなどのコリンエステラーゼ阻害剤 3 剤とメマンチンは進行抑制に効果がないこと、軽度アルツハイマー型認知症と軽度認知障害に適応をもつ抗アミロイドβ剤も意味ある介護負担軽減の効果なく害作用が大きいことを今号で取りあげた。アルツハイマー型認知症の不穏に適応拡大されたプレクスピブラゾールも害作用のほうが大きく、アルツハイマー型認知症には薬物療法でなく非薬物療法を主体とすべきである。しかし、非薬物療法の大きな柱となる介護サービス提供や介護労働者の待遇が深刻さを増している。

必要な介護サービスが保障され、介護労働者や事業所も労働や事業に見合った収入が保障されるように、介護を含む高齢者福祉の抜本的改革が求められている。